



SOCIETAS  
NEUROLOGICA  
JAPONICA  
Founded in 1960

# 第49回日本神経学会総会 ランチオンセミナー15

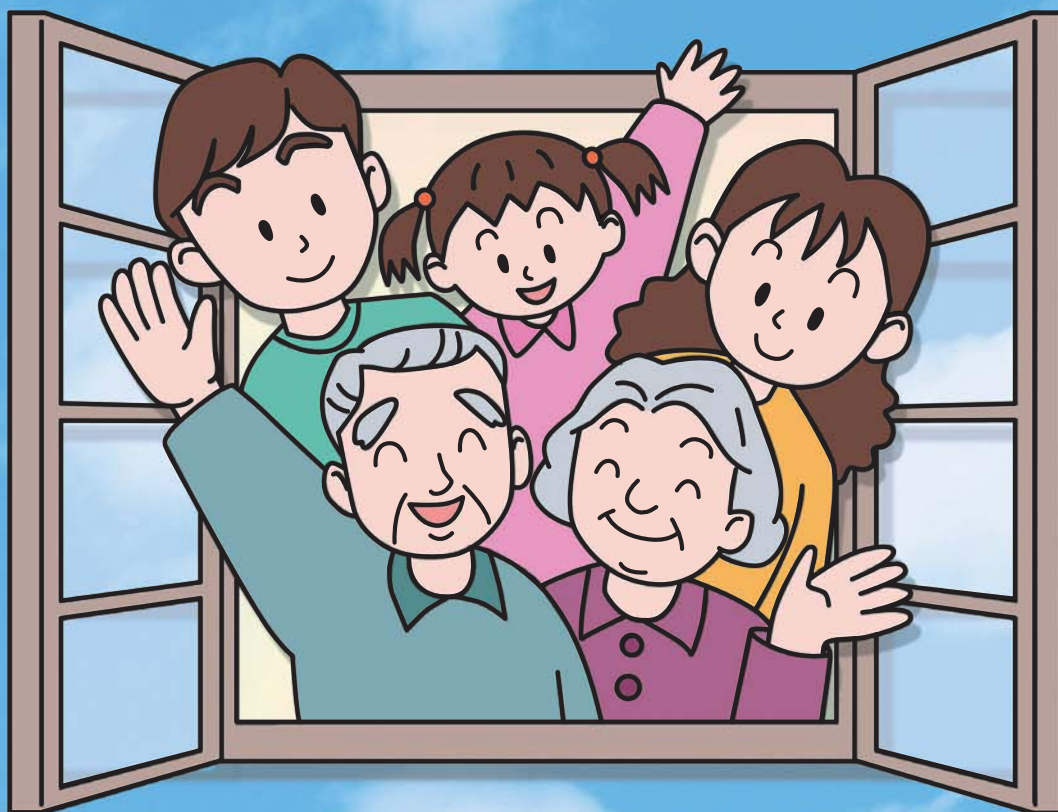
**日時** 平成20年5月16日(金) 12:00—13:00

**場所** パシフィコ横浜 第7会場 416+417

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1番1号 TEL:045-221-2155

テーマ

認知症の画像診断



演題

## 認知症の診療における画像検査の役割

座長

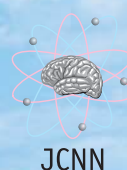
山田 正仁 先生 金沢大学 大学院医学系研究科 脳老化・神経病態学 (神経内科学)

演者

羽生 春夫 先生 東京医科大学 老年病科

共催

第49回日本神経学会総会  
日本脳神経核医学研究会  
富士フイルムRIファーマ株式会社



JCNN

FUJIFILM

富士フイルム RIファーマ株式会社

# 第49回日本神経学会総会 ランチョンセミナー15

共 催：第49回日本神経学会総会  
日本脳神経核医学研究会  
富士フイルムRIファーマ株式会社  
開催日時：平成20年5月16日(金) 12:00-13:00  
開催場所：パシフィコ横浜 第7会場 416+417

座 長：山田 正仁先生 金沢大学 大学院医学系研究科 脳老化・神経病態学（神経内科学）

演 者：羽生 春夫先生 東京医科大学 老年病科

## 認知症の診療における画像検査の役割

認知症の診療において重要なポイントは、記憶低下（もの忘れ）が病的な原因によるものか生理的加齢の影響か、もし病的ならばその原因は何か、重症度はどの程度か、そして適切な治療は何か、を念頭において、問診をすすめ、一般内科的、神経学的に診察していくことである。ここで、必要に応じて補助検査や画像検査が加えられるが、認知症を引き起こすほとんどすべての原因疾患の確認に画像診断の有用性が認められている。特に、最近の統計画像解析法の登場によって、MRIやSPECT像をより客観的に評価することができるようになってきた。その結果、代表的な認知症であるアルツハイマー病の早期診断や鑑別が容易となり、軽度認知障害から認知症への進展予測も可能となってきた。さらに、薬物治療などの効果判定や効果予測などにも画像検査の役割が期待されている。

本講演では、演者らの経験を含めて最近の認知症の診療における画像検査の役割について述べたい。

### About JCNN

#### 日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

#### 日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F 日本コンベンションサービス株式会社内  
Tel:03-3508-1214 Fax:03-3508-1302 E-mail:infojcnn@convention.co.jp

